

●浅野会長、こんにちは。いつも元気はつらつですが、健康の秘訣、元気の源を教えてくださいませんか？

よくよしない。心配しない。よく寝る。よく歩く！

●いつも力自慢をされます。胸の筋肉を隆々と盛り上げて見せてくれます。若いときにスポーツか何か体を鍛えていたのですか？

柔道、水泳、剣道と、県代表選手でした。

●生まれた頃の田舎はどんなでしたか？

昭和三年四月二十一日、南蒲原郡福島村尾崎（現、三条市尾崎）に生まれました。実家はタバコの生産農家です。母親は寺子屋の先生をしていました。姉が三人、末っ子の男子です。

●東京に出てきたころはどんなでしたか？

昭和十六年三条商工学校（現、県央工業高校）第二本科機械科（第二回）卒業後、地元新潟鉄工へ就職、しかしそこで指をつぶす怪我をしてしまいました。退職し、白根の朝倉旅館が庶事を務める土地改良事務所へ転職しました。県庁の車の運転手

をやったり、ガリ印刷の手伝いをしたり、機械いじりが好きだったので、ラジオの通信教育でラジオアン

プの製作をしたりしていました。

その頃、五泉で映画館を経営されていた長谷川社長と出会いがありました。柴田サーカスの三男で業界では有名な方です。東京で働かないかと誘われました。それで東京へ出てきたのです。

都電荒川線三ノ輪車庫前の江沢旅館にお世話になりました。仕事はワーナーブラザーズからの配給映画のフィルム管理です。その時、事務の仕事をしていたのが今の妻の浅野かずです。

●尊敬する人は？と聞くと、すかさず「浅野かず」とお答えになられました。微笑ましい限りの愛妻家です。奥様は新津高校出身の才女、目鼻立ちのくつきりとした、日本人ばなれした美人です。

●(株)浅野自動車設立の頃はどんな

でしたか？

仕事が暇な時、近所に自動車の修理工場がありまして、そこで手伝いをするのにしました。いろんな修理工場から難しい仕事を頼まれるようになった。それが浅野自動車

の原点かもしれません。

バイクが好きで、よく二人でツーリングに出かけました。車の整備が

好きだったところが高じて昭和三十一年、結婚と同時に(株)浅野自動車

を設立したのです。酒、タバコを止めて二百万円貯めました。それが元手です。今では、警視庁の車両整備を潤沢に受注するようになって安定成長を果たすことが出来ました。

●東京新潟県人会に入会されたのはいつの頃ですか？

昭和三十八年 東京新潟県人会大正部会青年部に入会しました。先輩から、おじ、おじと可愛がってもらいました。その後、昭和部会と合併

昭和部会幹事長を三期歴任することになりました。その昭和部会も平成三年に解散になりました。

●東京栄町会の設立当初のことを教えてください。

平成四年七月十一日東京新潟県人会館に於いて創立総会を開催、設立されましたが、そのきっかけが東京新潟県人会新年祝賀会で、栄町町長の津原氏との出会いでした。設立総会には六十五名の出席がありました。その後、毎年、津原町長を東京に迎え、新年会や懇親会を催していました。平成八年には、ふるさと表敬訪問旅行会を企画、二十五名の参加がありました。平成十六年の中越地震の時には、義捐金を募り寄付しました。現在は会員が集うことも少なくなり、下田郷人会、三条会、栄町会と合同で懇親会を開催しています。出来ることなら若い人達に期待し、再び栄町会を復活して欲しいものと思います。

●浅野会長、今日はありがとうございます。これからもますます元気で我々のお手本でいてください。

(広報委員 田中 実)



会長さん、今日は⑧

東京栄町会 浅野 謙治さん 会長